

1. はじめに

¡Hola! はじめまして。この度、埼玉県日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画派遣奨学生(以下、日墨研修とする)としてメキシコに1年間派遣されることになりました、後藤瑠花です。ここから1年間、現地メキシコでの留学生生活を報告・共有させていただきます。

2. 参加までの経緯

今回は初回ですので、少し私自身の話をさせていただきます。私は現在25歳で、4年間社会人をしていました。中学生のとき、NGO主催のワークショップに参加し、初めて世界の事情を知り、国際協力に興味を持ちました。自分が今までいかに幸せに、恵まれて生きてきたかを痛感し、そこから今度は自分が彼らのために何か仕事をしたいという気持ちが生まれました。そこから勉学に励み、就職の時期になって新型コロナウイルスによるパンデミックと重なってしまいました。国内にいる状態でなにか国際スキルを得られる職はないかと考えた結果、もともと興味もあった日本語教師という職を選択し、日本で進みたい・就職したいという留学生のサポートをしながら日本語を教えていました。パンデミックも落ち着き、「登録日本語教員」の資格を取得した段階でいろいろなご縁がありメキシコにボランティアとして渡航できることになりました。2週間のボランティアツアーを経て、現地でもう一度勉強したいという気持ちが強まり、今回の日墨研修に参加するきっかけとなりました。私自身が埼玉県出身・在住であること。そして埼玉県とメキシコ州は長い間姉妹協定を結んでいること。そしてなによりわたしに将来の夢を持つきっかけをつくってくれた埼玉県に貢献したいという気持ちが合わさり、応募させていただきました。



3. 最初の2か月間

渡航が決まってからあっという間に日が経ち、8月13日にメキシコシティへ出発しました。今回の日墨研修には34名の研修生が参加していて、一緒に渡航しました。学生から社会人までさまざまなバックグラウンドを持った34名がメキシコシティへと旅立ちました。メキシコシティに着いてからは家探しや在留カードの手続き、SIMの入手など忙しい毎日を過ごしました。現地の大使館の職員の方や、スペイン語が堪能な研修生の助けを借りながらなんとか家も見つかり、在留カードやSIMも入手することができました。わたしはスペイン語の向上のためにもホームステイという選択肢を取り、現在も温かいメキシコ人家族とともに生活を送っています。学校はCEPEと呼ばれる国立大学付属の外国人向けの語学学校に通っています。さまざまな国から来た留学生とともに毎日新鮮な気持ちで学習できています。



4. ボランティア活動

自分の生活に少しずつ慣れてきたので、学校と両立してボランティア活動をしたいと考え、現地NGOのボランティア活動に参加しています。スペイン語力はまだまだですが、毎日活動を通して生活で使われているような生のスペイン語に触れながら、路上活動をしながら路上で生活をしている家族や施設に通っている子どもたちとつながりを作っています。まだ始まったばかりなので、これからの留学記で詳しくお話、共有できたらとおもっています。

5. おわりに

念願叶っての1年間のメキシコ留学。始まったばかりでまだ慣れないこともたくさんありますが、いろいろなことに積極的に参加し、多くの学びを得たいと考えています。そして、このレポートを通して皆さんにメキシコのさまざまなことを共有・発信できたらと思っています。